

【ご参考資料】

2014年6月25日
野村アセットマネジメント株式会社

6月24日のトルコの政策金利の引き下げについて

主要政策金利を9.5%から8.75%に引き下げ

6月24日、トルコ中央銀行は金融政策決定会合を開催し、主要政策金利である1週間物レポレート¹を9.5%から8.75%に引き下げました。市場金利の上限となる翌日物貸出金利は12%に、市場金利の下限となる翌日物借入金利は8%にそれぞれ据え置かれました。

同中銀のバシチュウ総裁は、早ければ今月の会合で追加利下げに踏み切り、利下げ幅は0.25~0.75%になるとの見通しを示していました。市場予想通り、2会合連続の利下げとなりました。

世界的な流動性状況の改善が背景

同中銀は、会合後に発表した声明の中で、利下げの背景について、世界的な流動性の状況が改善していることを挙げました。2013年半ばからのリラ安を背景としたインフレ圧力が弱まっていくとし、インフレ率が今月から大きく低下し始めるとの見方を示しました。

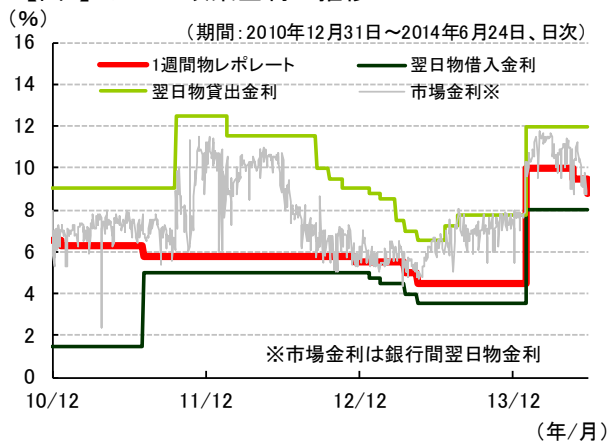
同国のエルドアン首相は、今年8月の大統領選挙に向けて、経済成長率の維持を目指しており、前月会合での0.5%の利下げ幅は小さすぎるとして、さらなる利下げを求めています。また、会合の前日に一部閣僚が、1月の大幅利上げ前の水準まで利下げすべきと発言しました。こうした政治的な圧力も、今回の決定に影響したと考えられますが、市場の一部では、首相や一部閣僚が求めていたほどの大幅な利下げとならなかったことを評価する見方もあります。

6月24日のニューヨーク外国為替市場では、対米ドルで前日比0.1%程度のトルコリラ高、対円で同0.2%程度のトルコリラ安となりました。

次回の金融政策決定会合は7月17日に開催される予定です。

以上

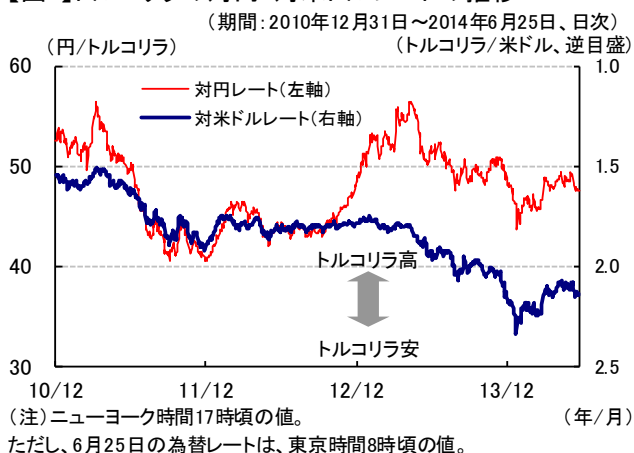
【図1】トルコの政策金利の推移



【図2】トルコの消費者物価指数(前年同月比)の推移



【図3】トルコリラの対円・対米ドルレートの推移



(出所) Bloombergデータより野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。